

販売用資料

2025年1月

フィデリティ・ マゼラン・米国成長株 ファンド

追加型投信／内外／株式

当ファンドは、特化型運用を行いません。

「投資信託説明書(交付目論見書)」のご請求・お申込みは



商号: マネックス証券株式会社 金融商品取引業者: 関東財務局長(金商)第165号
加入協会: 日本証券業協会／一般社団法人 第二種金融商品取引業協会
一般社団法人 金融先物取引業協会／一般社団法人 日本暗号資産等取引業協会
一般社団法人 日本投資顧問業協会

設定・運用は

フィデリティ投信株式会社



金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第388号
加入協会: 一般社団法人投資信託協会／一般社団法人日本投資顧問業協会



日本初上陸

元祖テンバガー・ファンド

「テンバガー」とは、株価が10倍になる銘柄のことを指します。
1977年～1990年にフィデリティ・マゼラン・ファンドの運用を担当していたピーター・リンチが、株式市場で10倍株を表現する言葉として「テンバガー」という用語を使い始めました。

ファンドのポイント

運用実績 — 60年で約8,000倍

フィデリティの米国成長株戦略
米国を代表する旗艦ファンド



優れたリスクリターン特性

市場指数や同分類と比較して優れた
リスクリターン特性
長期投資での安定的なリターン獲得に期待



信託報酬 — 0.9915%

米国上場ETFを活用したアクティブ運用で、
1%を切る信託報酬水準を実現



(注)優れたリターン特性とは、過去50年(1974年6月末～2024年6月末)における「Fidelity® Magellan® Fund」のリターン÷リスクの水準が、同期間のS&P500種指数のリターン÷リスクの水準、ならびにLSEGによって米国籍、アクティブファンド、Large Growthに分類されるファンドの平均リターン÷リスクの水準よりも高いことを意味する。リターン÷リスクは全て年率。「フィデリティ・マゼラン・米国成長株ファンド」の信託報酬率0.9915%には、「Fidelity® Magellan® ETF」の信託報酬等0.59%を含む。

※上記は過去の実績であり、将来の傾向、数値等を保証するものではありません。

(参考) フィデリティ・マゼラン・ファンドの設定来の運用実績



(注)FMR Co、RIMES、LSEGよりフィデリティ投信作成。「Fidelity® Magellan® Fund」のデータを使用。1963年5月2日～2024年6月末(グラフ表示上は1963年5月末から)。期初を1として指数化。S&P500種指数はトータルリターン、米ドルベース。S&P500種指数は1970年1月末以前のトータルリターンのデータが取得できないため、1963年5月2日～1970年1月末はプライスリターンのデータを使用。年率リターンは1963年5月末～2024年6月末の期間で計算。

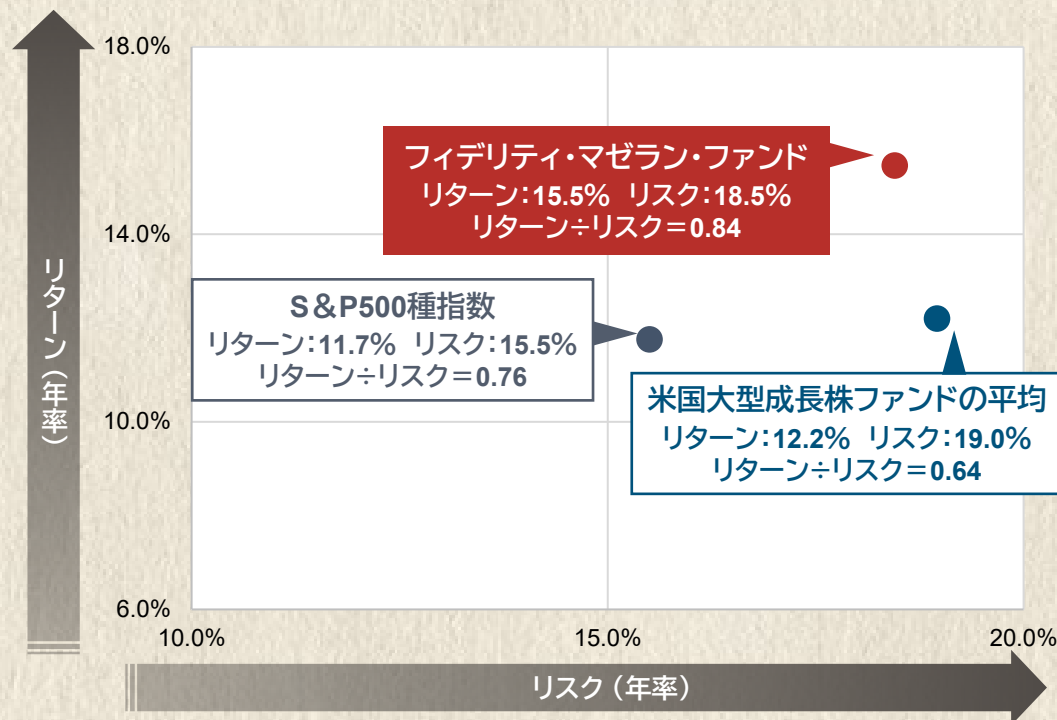
当ファンドの投資対象である「Fidelity® Magellan® ETF」と同様の運用担当者、投資哲学、運用戦略に基づき運用されている米国籍投資信託「Fidelity® Magellan® Fund」の実績です。1963年5月2日に設定されました。日本では販売されておりません。参考情報として提供することのみを目的として掲載しており、「Fidelity® Magellan® ETF」の運用実績ではありません。また、「Fidelity® Magellan® ETF」とは費用等が異なります。

※上記は過去の実績であり、将来の傾向、数値等を保証するものではありません。

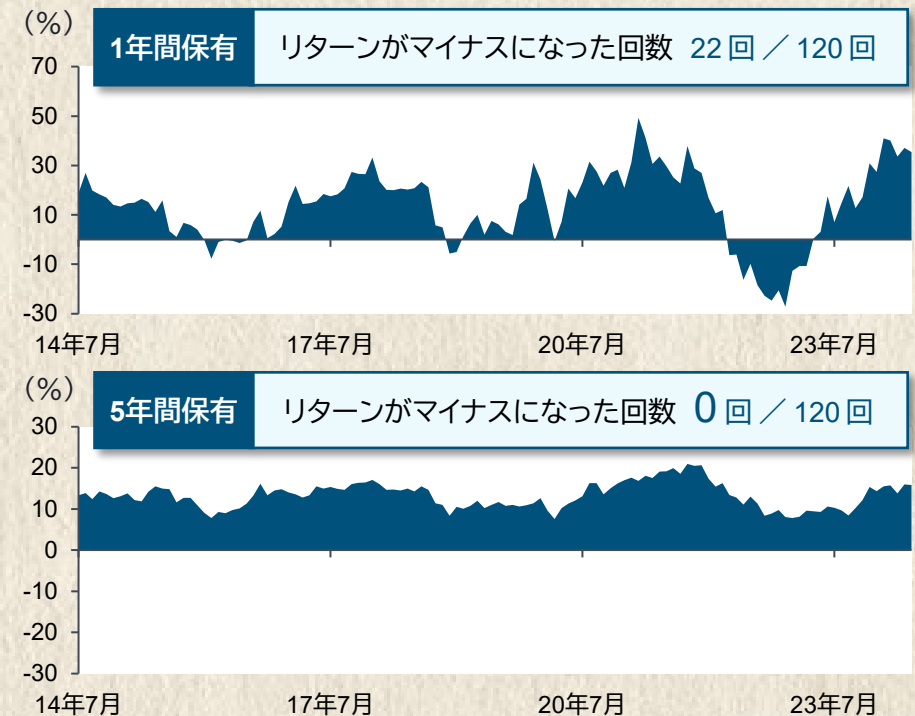
優れたリスクリターン特性と長期投資の有効性

- ◆ フィデリティ・マゼラン・ファンドは市場指数や同分類のアクティブファンド以上の優れたリスクリターン特性を持ちます。
- ◆ さらに、長期での保有によって、より安定的なリターンの獲得が期待されます。

■ リスクリターンの特性比較(過去50年、年率)



■ 保有期間別リターンの推移(年率)



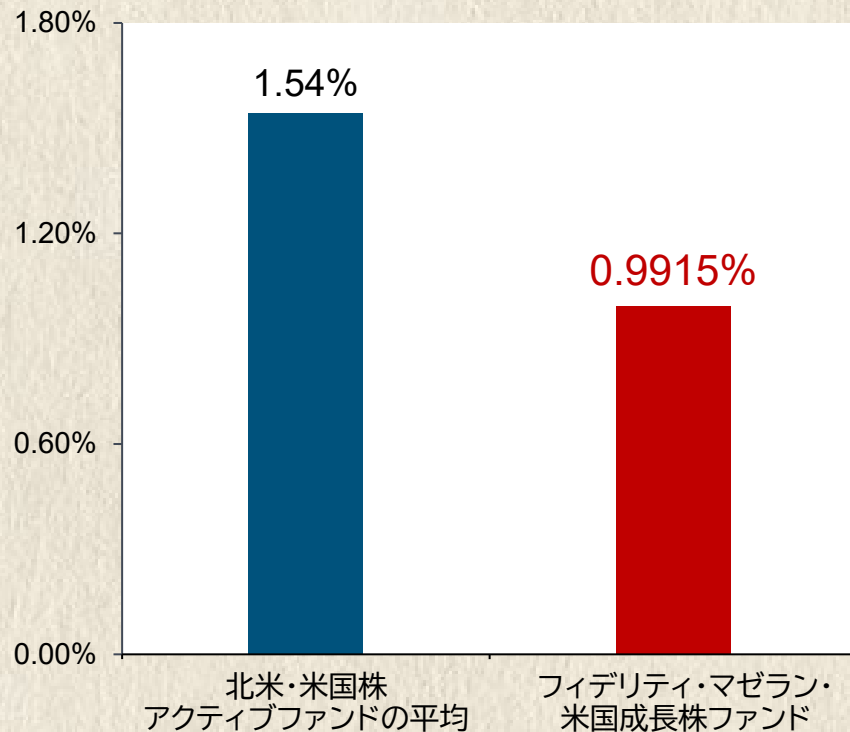
(注)FMR Co、RIMES、LSEGよりフィデリティ投信作成。「Fidelity® Magellan® Fund」のデータを使用。左：1974年6月末～2024年6月末のデータを使用。S&P500種指数はトータルリターン、米ドルベース。フィー控除後。米国大型成長株ファンドとは、LSEGが分類する米国籍、アクティブファンド、Large Growthに分類されるファンド。該当するファンドの単純平均のリスクリターンを算出。右：2009年7月末～2024年6月末のデータを使用。グラフ表示は2014年7月末～2024年6月末。米ドルベース。フィー控除後。各月末まで1年間、5年間保有した場合の年率リターンを表す。

当ファンドの投資対象である「Fidelity® Magellan® ETF」と同様の運用担当者、投資哲学、運用戦略に基づき運用されている米国籍投資信託「Fidelity® Magellan® Fund」の実績です。1963年5月2日に設定されました。日本では販売されておりません。参考情報として提供することのみを目的として掲載しており、「Fidelity® Magellan® ETF」の運用実績ではありません。また、「Fidelity® Magellan® ETF」とは費用等が異なります。

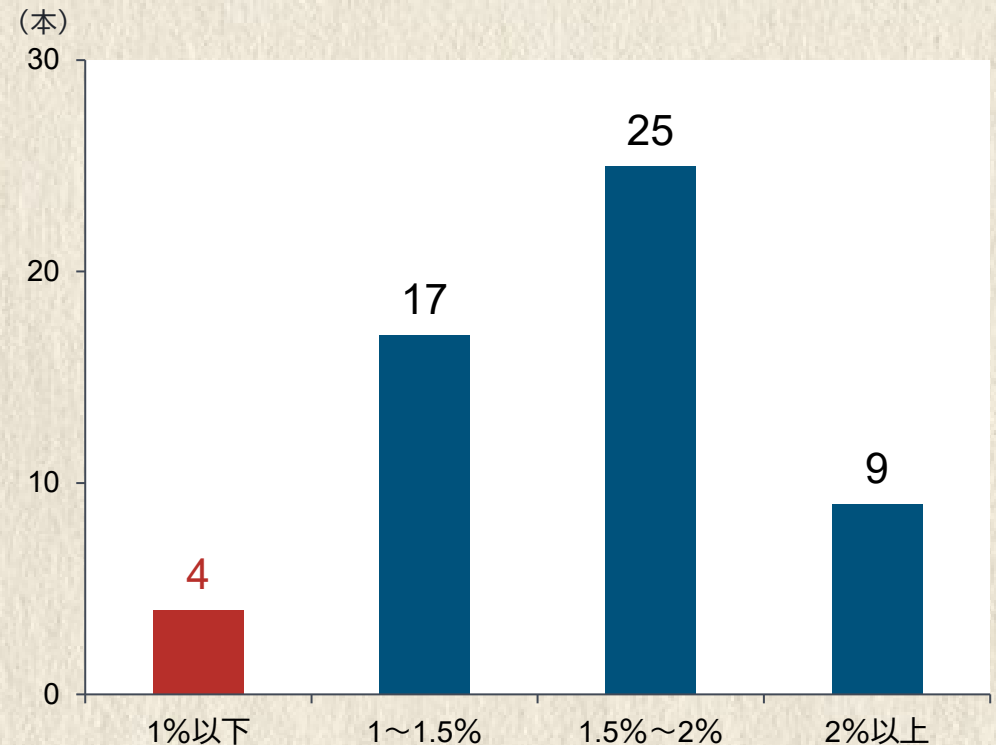
年率1%を切る信託報酬水準を実現

- ◆ フィデリティ・マゼラン・米国成長株ファンドは、米国上場ETFを活用することで、同分類ファンドの平均を下回る魅力的な信託報酬水準と、アクティブ運用を両立させました。
- ◆ 米国株に投資するアクティブファンドの中で、年率1%を切る信託報酬率のファンドは数少ない存在です。

■ 魅力的な信託報酬水準



■ 同分類ファンドの信託報酬率の分布



(注) LSEGよりフィデリティ投信作成。2024年6月末時点。日本の公募投信(ETF除く)のうち、LSEGが北米・米国株型と分類し、かつ純資産残高が2024年6月末時点で100億円を超えるファンドの信託報酬等(税込み)の平均を算出。右図も同様の方法で算出。「フィデリティ・マゼラン・米国成長株ファンド」の信託報酬率0.9915%には、「Fidelity® Magellan® ETF」の信託報酬等0.59%を含む。ただし、法定書類等の作成等に要する費用、監査費用、組入れ有価証券売買手数料等は含まれていない。北米・米国株アクティブファンドの平均値算出の対象ファンドにはこれらの費用等が含まれている場合がある。

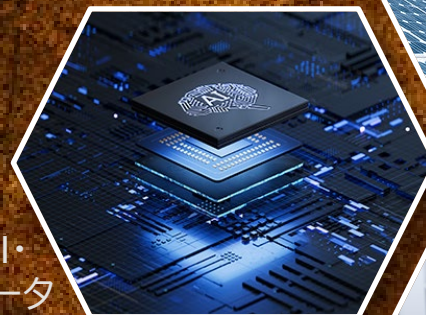
銘柄選択の視点

複数のメガトレンドによって成長し続ける、
外部環境に左右されない卓越した米国企業を厳選します。

当ファンドが
着目する企業群



AI・
データ



エネルギー転換



サステナビリティ



DX



先進医療



消費拡大



インフラ投資拡大



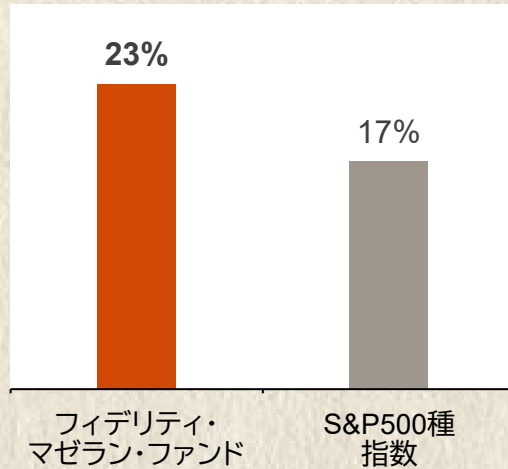
(注)フィデリティ投信作成。2024年6月末時点。上記はイメージであり、相場環境によっては上記のような運用ができない場合があります。

卓越した企業を厳選したポートフォリオ

- ◆ 高い成長力、高い収益力、高い経営力の3つを兼ね備える卓越した企業に厳選投資します。
- ◆ 卓越した企業群によって構成されたポートフォリオは、市場平均以上の優れた特性を持ちます。

高い成長力

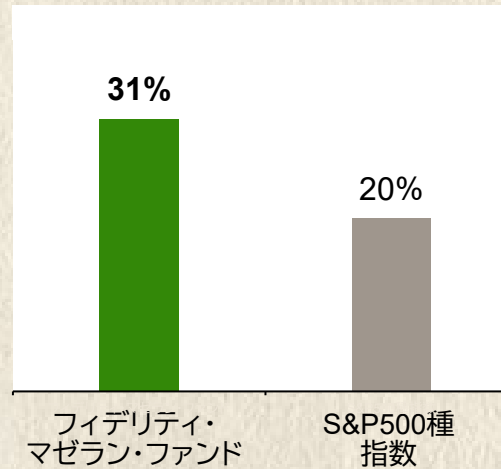
一株当たり利益成長率 (EPS)



メガトレンドの恩恵を受け、構造的かつ持続的な成長が見込まれる企業に着目

高い収益力

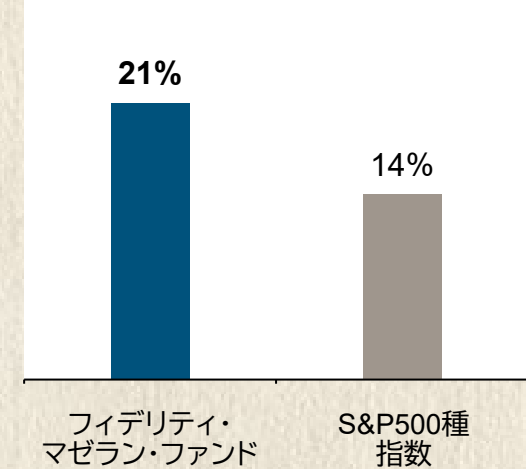
自己資本利益率 (ROE)



独自のビジネスモデル、強固なブランド、高い参入障壁を持ち、高い収益力が期待される企業に着目

高い経営力

投下資本利益率 (ROIC)



経営判断に優れ、効率的な投資によって稼ぐ力を持つ企業に着目

(注)FMR Coよりフィデリティ投信作成。2024年6月末時点。

当ファンドの投資対象である「Fidelity® Magellan® ETF」と同様の運用担当者、投資哲学、運用戦略に基づき運用されている米国籍投資信託「Fidelity® Magellan® Fund」の実績です。1963年5月2日に設定されました。日本では販売されておりません。参考情報として提供することのみを目的として掲載しており、「Fidelity® Magellan® ETF」の運用実績ではありません。また、「Fidelity® Magellan® ETF」とは費用等が異なります。

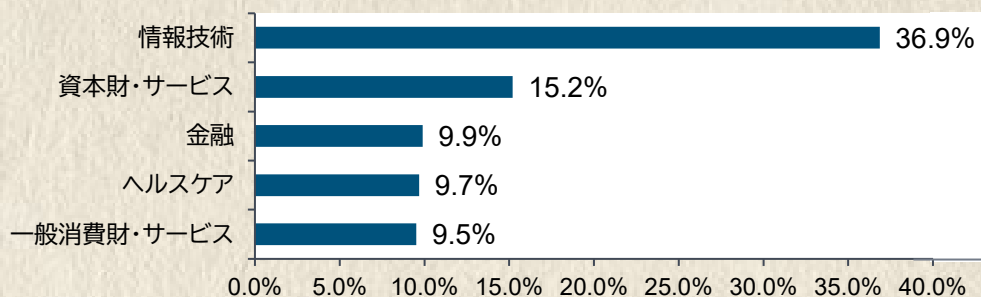
投資対象ファンド(Fidelity® Magellan® ETF)の特性値 (2024年6月末時点)

◆ フィデリティの豊富な運用体制が、次世代の卓越した企業＝ダイヤモンドの原石の発掘を可能にします。

■ 上位10銘柄(保有銘柄数:57)

名称	業種	比率
マイクロソフト	情報技術	8.3%
エヌビディア	情報技術	7.8%
アマゾン・ドット・コム	一般消費財・サービス	4.8%
メタ・プラットフォームズ	コミュニケーション・サービス	3.6%
アルファベットA	コミュニケーション・サービス	3.5%
イーライリリー	ヘルスケア	2.7%
ブロードコム	情報技術	2.7%
ユナイテッドヘルス・グループ	ヘルスケア	2.1%
ビザ	金融	1.9%
コストコ	生活必需品	1.9%

■ 上位5業種



(注) LSEG、FMR Coよりフィデリティ投信作成。2024年6月末時点。配分比率はそれぞれの項目を四捨五入して表示。業種はMSCI/S&P世界産業分類基準に準拠。ダイヤモンドの原石10銘柄は2024年6月末時点の全保有銘柄の中で、過去3年(2021年6月末～2024年6月末)の騰落率が高く、かつ1,000億米ドル以下の時価総額の銘柄を掲載(2024年6月末時点)。掲載されている個別の銘柄・企業名については、あくまで参考として述べたものであり、その銘柄又は企業の株式等の売買を推奨するものではありません。また、当ファンドへの組み入れを保証するものではありません。

■ 潜在成長力を有するダイヤモンドの原石 10銘柄

名称	業種	比率	株価騰落率 (過去3年)
クアンタ・サービシズ	資本財・サービス	1.2%	182%
アレス・マネージメント	金融	1.0%	130%
ケイデンス・デザイン・システムズ	情報技術	1.2%	125%
シノプシス	情報技術	1.3%	116%
コンステレーション・ソフトウェア	情報技術	1.0%	111%
トランスタイム・グループ	資本財・サービス	1.4%	110%
ユナイテッド・レンタルズ	資本財・サービス	1.1%	107%
センコラ	ヘルスケア	1.0%	104%
アンフェノール	情報技術	1.3%	103%
オートゾーン	一般消費財・サービス	1.1%	99%
(ご参考)S&P500種指数	—	—	33%

卓越した企業の発掘・投資事例①

メタ・プラットフォームズ (米国、コミュニケーション・サービス)



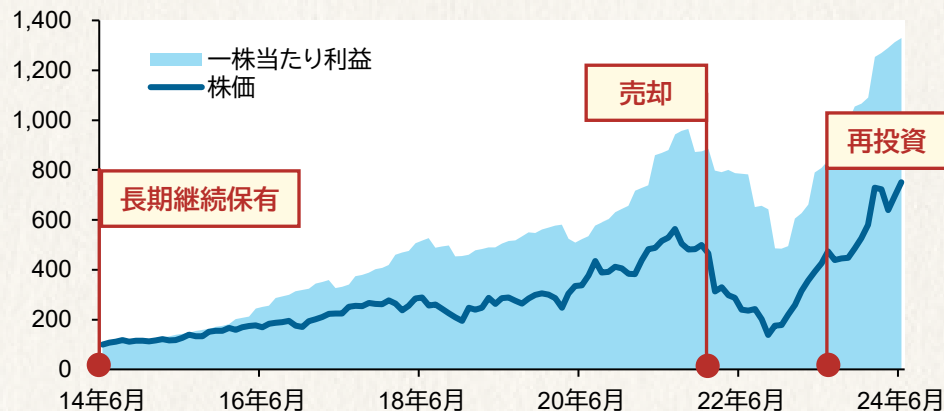
概要

- ◆ 世界最大級のユーザー数を誇るSNS「Facebook」等、各種ネットサービスを展開するIT大手

投資行動

- ◆ 競合との競争激化、メタバースへの過剰投資等から成長率が低下し、22年初頭に同社株式を全て売却。
- ◆ しかし、その後人工知能(AI)への投資が奏功し、主力サービスにおける顧客のエンゲージメント(関与)が向上。さらにはリストラ進捗による収益性の劇的な改善がみられたことで、再び成長軌道に戻ったと判断。
- ◆ 23年半ばの再投資後に株価は高値を更新。

株価と一株当たり利益の推移、ならびに投資行動



イーライリリー (米国、ヘルスケア)



概要

- ◆ 糖尿病治療薬に強みを持つ製薬大手

投資行動

- ◆ 既存製品に対する特許の期限切れが相次いだことで、株価は上値が重い状況が継続。
- ◆ しかし、運用チームは体重減少や血糖の抑制効果が期待される画期的な肥満治療薬等、有望な製品が複数控えていることに着目。それらの収益貢献を考慮した場合は割安と判断し20年初頭に投資。
- ◆ その後、同治療薬は爆発的なヒットとなり、株価は大きく上昇。アルツハイマー治療薬等、さらなる成長ドライバーにも期待。

株価と一株当たり利益の推移、ならびに投資行動



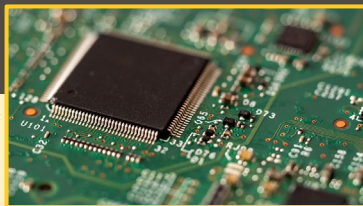
(注) LSEGよりフィデリティ投信作成。期間は2014年6月末～2024年6月末。米ドルベース、トータルリターン。期初を100として指数化。一株当たり利益は12カ月先予想ベース。掲載されている個別の銘柄・企業名については、あくまで参考として述べたものであり、その銘柄又は企業の株式等の売買を推奨するものではありません。また、当ファンドへの組み入れを保証するものではありません。

当ファンドの投資対象である「Fidelity® Magellan® ETF」と同様の運用担当者、投資哲学、運用戦略に基づき運用されている米国籍投資信託「Fidelity® Magellan® Fund」の実績です。1963年5月2日に設定されました。日本では販売されておりません。参考情報として提供することのみを目的として掲載しており、「Fidelity® Magellan® ETF」の実績ではありません。

卓越した企業の発掘・投資事例②

エヌビディア

(米国、情報技術)



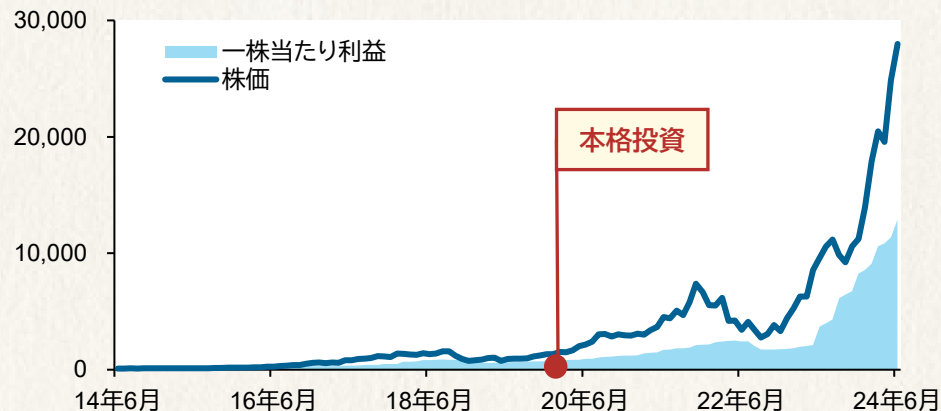
概要

- ◆ 画像処理・AI向け半導体で世界的に高いシェアを誇る半導体メーカー

投資行動

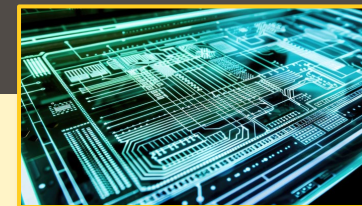
- ◆ 20年初頭に発表された決算にて、データセンター向け製品が驚異的な成長力を示す。新製品の投入も控える中、データセンター、AI向けでの競争優位性の拡大を確信。
- ◆ 20年初頭に本格的に保有を開始して以降、生成AI向けに売上が急拡大し、株価も大幅上昇。半導体とAI開発ソフトウェアの組み合わせによって、AIプラットフォームとしての収益成長に期待。

株価と一株当たり利益の推移、ならびに投資行動



シノプシス

(米国、情報技術)



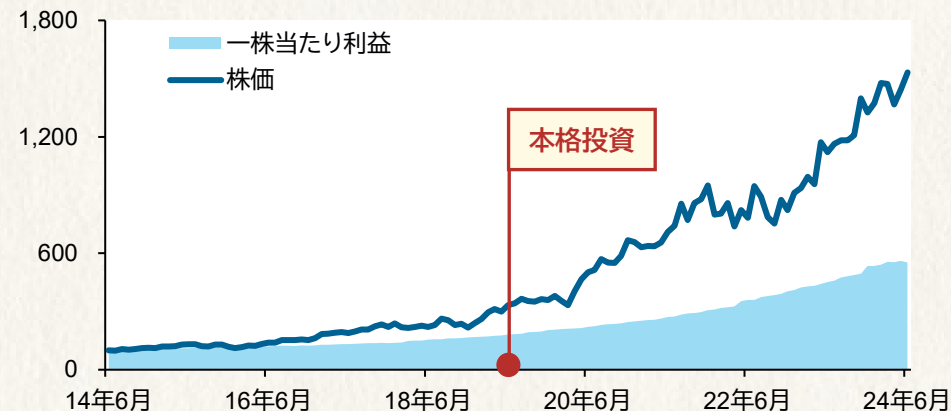
概要

- ◆ 半導体メーカー向けに半導体設計支援ツールを提供

投資行動

- ◆ 同社は半導体の設計に欠かせない回路自動設計(EDA)ソフトウェアを手掛ける世界大手の一角。
- ◆ スマートフォン、車、AI向けなど、多彩な半導体チップの設計に同社製品は使用されている。高い価格決定力等を評価し、19年中頃から本格投資。
- ◆ 同社はエヌビディア等大手半導体メーカーとも協業。24年初頭には競合買収を発表し、さらなるスケールメリットにも期待。

株価と一株当たり利益の推移、ならびに投資行動



(注) LSEGよりフィデリティ投信作成。期間は2014年6月末～2024年6月末。米ドルベース、トータルリターン。期初を100として指数化。一株当たり利益は12カ月先予想ベース。掲載されている個別の銘柄・企業名については、あくまで参考として述べたものであり、その銘柄又は企業の株式等の売買を推奨するものではありません。また、当ファンドへの組み入れを保証するものではありません。

当ファンドの投資対象である「Fidelity® Magellan® ETF」と同様の運用担当者、投資哲学、運用戦略に基づき運用されている米国籍投資信託「Fidelity® Magellan® Fund」の実績です。1963年5月2日に設定されました。日本では販売されておりません。参考情報として提供することのみを目的として掲載しており、「Fidelity® Magellan® ETF」の実績ではありません。

優れた銘柄を選別する独自のプロセス

投資ユニバース

米国株を中心に
世界の市場銘柄が対象
(約2,000銘柄以上)

- ◆ 高い投下資本利益率を誇りつつ、過去90日間で相対的に割安となったクオリティの高い銘柄を定量的にスクリーニング

ファンダメンタルズによる分析
(約700~900銘柄)

- ◆ フィデリティのグローバルな企業調査網を活用し、候補銘柄のサプライチェーンも含め深掘りして分析。企業との直接面談を積極的に実施
- ◆ メガトレンドの恩恵を受け、価格支配力を持ち、参入障壁の高い企業を選好

銘柄選別
(約200銘柄)

- ◆ 利益成長性と持続性、投下資本利益率、バランスシートの健全性等の見直しに加え、株価バリュエーションの観点から投資候補銘柄を絞り込み
- ◆ ベンチマーク構成比率に対するアクティブ保有比率を一定水準に抑えることでリスク対比でのリターン改善を目指す

フィデリティ・
マゼラン
ETF

- ◆ 高い成長力、高い収益力、高い経営力を持つ卓越した銘柄群で構成されたポートフォリオ

想定組入銘柄数
50~130 銘柄程度

(注)FMR Coよりフィデリティ投信作成。2024年6月末時点、相場環境によっては上記のような運用ができない場合があります。

世界最大級の運用体制で魅力的な銘柄を発掘

- ◆ フィデリティの根幹である、グローバル規模の調査ネットワークと綿密な個別企業調査。
- ◆ それらを駆使し、市場がまだ気づいていない成長銘柄を徹底的に発掘します。

情報の横断的な相互共有が、当社独自のファンダメンタルズ分析の強み

世界最大級の運用体制

全世界で **910** 人以上の
運用プロフェッショナル

ポートフォリオ・マネージャー
(PM)

当ファンドが関連する業界の
アナリスト

他ファンドのPM

他業界のアナリスト

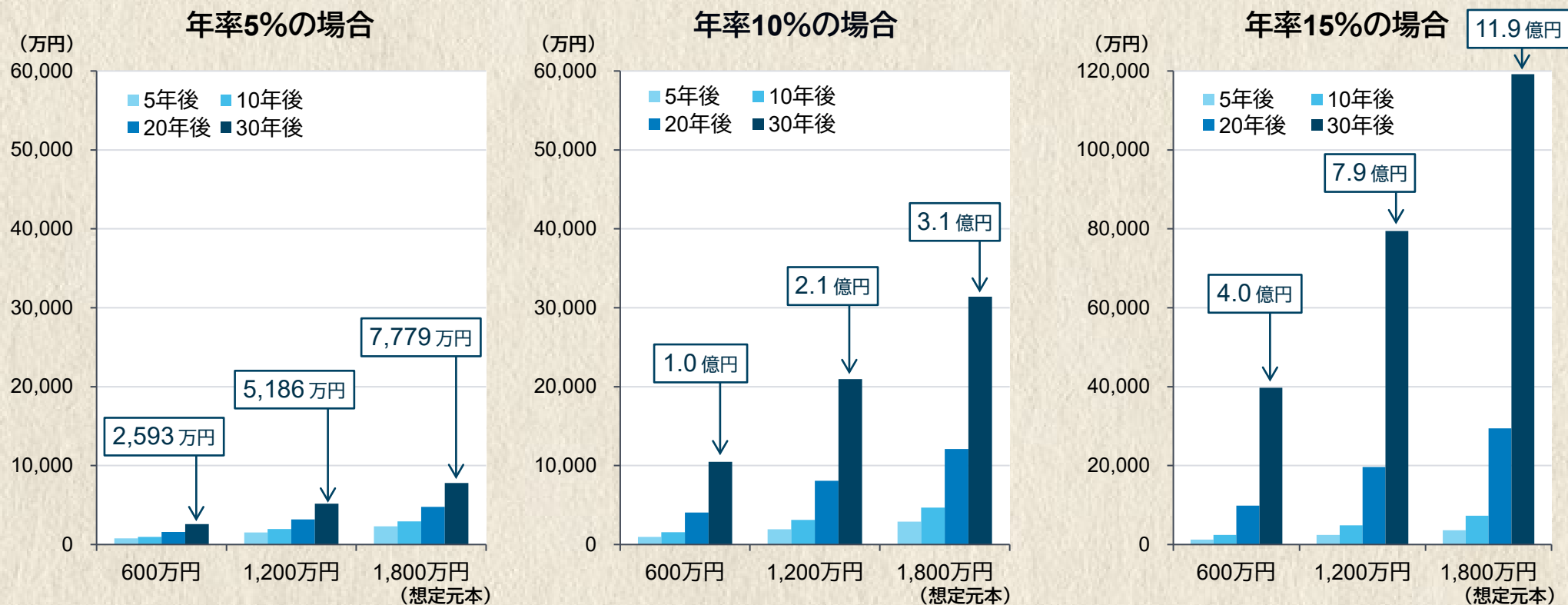
他地域のアナリスト



(注)FMR Coよりフィデリティ投信作成。運用プロフェッショナル数は2023年12月末時点。ポートフォリオ・マネージャー、アナリスト、トレーダー、部門マネジメント等を含んだ人数。企業調査レポート数は、株式運用チーム全体での2023年の作成数。

運用成果のシミュレーション

◆ 長期で投資するほど、また年率リターンが高いほど、複利効果により大きな運用成果を獲得することができます。



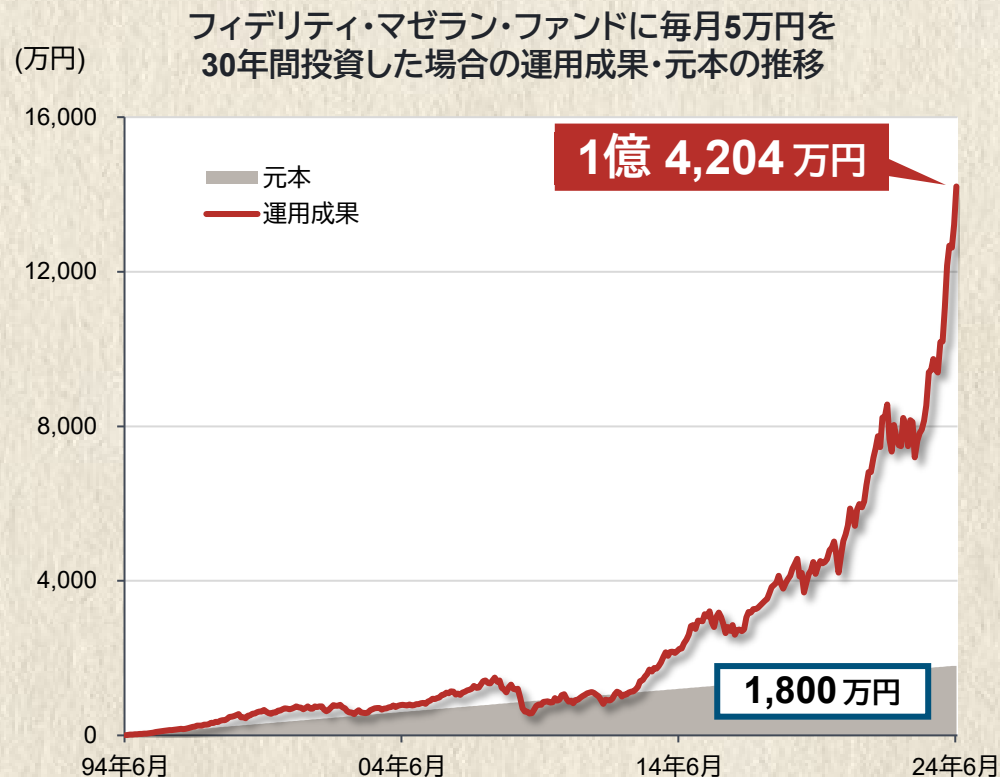
計算の前提

- ・ 一定の年率リターンが継続する前提でのシミュレーションであり、将来の運用成果を約束するものではありません。例示目的で掲載しております。
- ・ 購入時手数料および収益分配金にかかる税金は考慮していません。

(注) フィデリティ投信作成。円ベース。千円以下は四捨五入した金額を表示。

フィデリティ・マゼラン・ファンドを使った 積立投資のシミュレーション

◆ 過去30年で毎月5万円の積立投資を行った場合、最終金額は1億円を超え、元本の約7.9倍の投資成果となりました。



金額別、期間別の積立投資の投資成果の試算(カッコ内は元本総額)

毎月の積立額	5年間 (2019年6月末～)	10年間 (2014年6月末～)	20年間 (2004年6月末～)	30年間 (1994年6月末～)
1万円	123 万円 (元本 60 万円)	365 万円 (元本 120 万円)	1,450 万円 (元本 240 万円)	2,841 万円 (元本 360 万円)
5万円	613 万円 (元本 300 万円)	1,824 万円 (元本 600 万円)	7,252 万円 (元本 1,200 万円)	1億 4,204 万円 (元本 1,800 万円)
10万円	1,227 万円 (元本 600 万円)	3,648 万円 (元本 1,200 万円)	1億 4,504 万円 (元本 2,400 万円)	2億 8,409 万円 (元本 3,600 万円)
20万円	2,454 万円 (元本 1,200 万円)	7,296 万円 (元本 2,400 万円)	2億 9,008 万円 (元本 4,800 万円)	5億 6,817 万円 (元本 7,200 万円)

計算の前提

- ・ 2024年6月末までのフィデリティ・マゼラン・ファンドの運用実績に基づいて試算しています。
- ・ 購入時手数料および収益分配金にかかる税金は考慮していません。
- ・ 毎月末に積立を行うと仮定し、最終月末には積立を行いません。

(注)FMR Coよりフィデリティ投信作成。期間は1994年6月末～2024年6月末。円ベース。千円以下は四捨五入した金額を表示。

当ファンドの投資対象である「Fidelity® Magellan® ETF」と同様の運用担当者、投資哲学、運用戦略に基づき運用されている米国籍投資信託「Fidelity® Magellan® Fund」の実績です。1963年5月2日に設定されました。日本では販売されておりません。参考情報として提供することのみを目的として掲載しており、「Fidelity® Magellan® ETF」の運用実績ではありません。また、「Fidelity® Magellan® ETF」とは費用等が異なります。

ファンドの特色

フィデリティ・マゼランETFへの投資を通じて、主として米国を中心に世界(日本を含みます。)の金融商品取引所に上場(これに準ずるものを含みます。)されている企業の株式の中から、成長が期待できる銘柄および割安な銘柄に投資を行ない、長期的な投資信託財産の成長を図ることを目的として運用を行ないます。

1

- ファンドは特化型運用を行ないます。特化型ファンドとは、投資対象に一般社団法人投資信託協会の規則に定める寄与度が10%を超える又は超える可能性の高い支配的な銘柄が存在し、又は存在することとなる可能性が高いファンドをいいます。
- ファンドが主に投資を行なうフィデリティ・マゼランETFが組入れる株式には寄与度が10%を超える又は超える可能性の高い支配的な銘柄が存在するため、投資先について特定の銘柄への投資が集中することがあり、当該支配的な銘柄に経営破綻や経営・財務状況の悪化が生じた場合には、大きな損失が発生することがあります。

2 上場投資信託証券(ETF)への組入比率は、原則として高位を維持します。

3 実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行ないません。

※資金動向、市況動向、残存信託期間等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

投資リスク

基準価額の変動要因

投資信託は預貯金と異なります。

ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので基準価額は変動し、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。

したがって、投資者の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。

ファンドが有する主なリスク等(ファンドが主に投資を行なうETFが有するリスク等を含みます。)は以下の通りです。

主な変動要因

価格変動リスク

基準価額は有価証券等の市場価格の動きを反映して変動します。有価証券等の発行企業が経営不安、倒産等に陥った場合には、投資資金が回収できなくなる場合があります。

為替変動リスク

外貨建の有価証券等に投資を行なう場合は、その有価証券等の表示通貨と日本円との間の為替変動の影響を受けます。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

その他の留意点

クーリング・オフ

ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。

流動性リスク

ファンドは、大量の解約が発生し短期間に解約資金を手当てする必要性が生じた場合や、主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスクや、取引量が限られるリスク等があります。その結果、基準価額の下落要因となる場合や、購入・換金受付の中止、換金代金支払の遅延等が発生する可能性があります。

集中投資の可能性

ファンドが主に投資を行なうETFは、特定の銘柄に集中投資することがあります。その場合、より多くの銘柄に分散投資するファンドと比べて、上記のリスクの影響が大きくなる可能性があります。

エマージング市場に関わる留意点

エマージング市場(新興諸国市場)への投資においては、政治・経済的不確実性、決済システム等市場インフラの未発達、情報開示制度や監督当局による法制度の未整備、為替レートの大変動、外国への送金規制等の状況によって有価証券の価格変動が大きくなる場合があります。

デリバティブ(派生商品)に関する留意点

ファンドは、ヘッジ目的ならびに投資対象資産を保有した場合と同様の損益を実現する目的の場合に限り、有価証券先物、各種スワップ、差金決済取引等のデリバティブ(派生商品)を用いることがあります。デリバティブの価格は市場動向などによって変動するため、基準価額の変動に影響を与えます。デリバティブが

店頭取引の場合、取引相手の倒産などにより契約が履行されず損失を被る可能性があります。

分配金に関する留意点

分配金は、預貯金の利息とは異なります。分配金の支払いは純資産から行なわれますので、分配金支払い後の純資産は減少することになり、基準価額が下落する要因となります。

分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の利子・配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。計算期間におけるファンドの運用実績は、期中の分配金支払い前の基準価額の推移および収益率によってご判断ください。

投資者のファンドの購入価額によっては分配金はその支払いの一部、または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

フィデリティ・マゼラン・米国成長株ファンド

追加型投信／内外／株式

商品の内容やお申込みの詳細については

委託会社 フィデリティ投信株式会社

インターネットホームページ <https://www.fidelity.co.jp/>

電話番号 0570-051-104 受付時間：営業日の午前9時～午後5時または販売会社までお問い合わせください。

留意点 ご購入およびご換金の受付については、原則として、毎営業日（ただし、ニューヨーク証券取引所の休業日およびニューヨークにおける銀行の休業日と同日の場合は除きます。）の午後3時まで受け付けます。^(注)
(注) 2024年11月5日以降は、原則として、午後3時30分までに販売会社所定の事務手続きが完了したものを当日のお申込み受付分とする予定です。なお、販売会社によっては異なる場合がありますので、詳細は販売会社にご確認ください。

その他のファンド概要

信託期間 原則として無期限（2024年9月12日設定）

収益分配 毎年12月20日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行ない、収益分配方針に基づき分配を行ないます。ただし、必ず分配を行なうものではありません。
※第1期の決算日は2024年12月20日とします。

購入価額 当初申込期間：1口=1円（2024年9月5日から2024年9月11日まで）
継続申込期間：購入申込受付日の翌営業日の基準価額（2024年9月12日以降）

換金価額 換金申込受付日の翌営業日の基準価額
ご換金代金の支払開始日は原則として換金申込受付日より5営業日目以降になります。

換金制限 ファンドの資金管理を円滑に行なうため、1日1件5億円を超えるご換金はできません。また、大口のご換金には別途制限を設ける場合があります。

ファンドに係る費用・税金

購入時手数料 **3.30%（税抜3.00%）を上限**として販売会社がそれぞれ定める料率とします。

換金時手数料 なし

運用管理費用（信託報酬） 純資産総額に対し年率0.4015%（税抜0.365%）

※このほかに、ファンドが投資するETFにおいて年率0.59%程度の運用報酬等が別途課されるため、実質的な運用管理費用（信託報酬）等は、**年率0.9915%（税込）程度**となる予定です。（投資するETFの変更等により実質的な運用管理費用（信託報酬）等は変動することがあります。）

その他費用・手数料 ・組入有価証券の売買委託手数料、信託事務の諸費用等がファンドより支払われます。（運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を表示できません。）

・法定書類等の作成等に要する費用、監査費用等がファンドより支払われます。（ファンドの純資産総額に対して年率0.10%（税込）を上限とします。）

税金 原則として、収益分配時の普通分配金ならびにご換金時の値上がり益および償還時の償還差益に対して課税されます。税法が改正された場合等には、上記内容が変更になる場合があります。

信託財産留保額 なし

※当該手数料・費用等の上限額および合計額については、お申込み金額や保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※課税上は株式投資信託として取扱われます。公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合にNISA（少額投資非課税制度）の適用対象となります。当ファンドは、NISAの「成長投資枠（特定非課税管理勘定）」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。

※ファンドに係る費用・税金の詳細については、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

委託会社、その他の関係法人

委託会社 **フィデリティ投信株式会社** 【金融商品取引業者】関東財務局長（金商）第388号

【加入協会】一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会

受託会社 **みずほ信託銀行株式会社**

販売会社 販売会社につきましては、委託会社のホームページ（アドレス：<https://www.fidelity.co.jp/>）をご参照ください。

MEMO

販売用資料

ご注意点

- 当資料はフィデリティ投信によって作成された最終投資家向けの投資信託商品販売用資料です。投資信託のお申込みに関しては、以下の点をご理解いただき、投資の判断はお客様ご自身の責任においてなさいますようお願い申し上げます。なお、当社は投資信託の販売について投資家の方の契約の相手方とはなりません。
- 投資信託は、預金または保険契約でないため、預金保険および保険契約者保護機構の保護の対象にはなりません。また、金融機関の預貯金と異なり、元本および利息の保証はありません。販売会社が登録金融機関の場合、証券会社と異なり、投資者保護基金に加入していません。
- 「フィデリティ・マゼラン・米国成長株ファンド」が主に投資を行なうETFは、主として国内外の株式等を投資対象としていますが、その他の有価証券に投資することもあります。
- ファンドの基準価額は、投資対象とするETFが組み入れた株式やその他の有価証券の値動き、為替相場の変動等の影響により上下しますので、これにより投資元本を割り込むことがあります。また、投資対象とするETFが組み入れた株式やその他の有価証券の発行者の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等により、投資元本を割り込むことがあります。すなわち、保有期間中もしくは売却時の投資信託の価額はご購入時の価額を下回ることもあり、これに伴うリスクはお客様ご自身のご負担となります。
- ご購入の際は投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめまたは同時にお渡しいたしますので、必ずお受取りのうえ内容をよくお読みください。
- 投資信託説明書(交付目論見書)については、販売会社またはフィデリティ投信までお問い合わせください。なお、当ファンドの販売会社につきましては以下のホームページ(<https://www.fidelity.co.jp/>)をご参照ください。
- 当資料は、信頼できる情報をもとにフィデリティ投信が作成しておりますが、正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。
- 当資料に記載の情報は、作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。また、いずれも将来の傾向、数値、運用結果等を保証もしくは示唆するものではありません。
- 当資料にかかわる一切の権利は引用部分を除き当社に属し、いかなる目的であれ当資料の一部または全部の無断での使用・複製は固くお断りいたします。



IM240718-3 CSIS250107-6 商品ページはこちら